

小中学校研究主任研修会にて「わかる授業 Support Guide」の活用

今年度の小中学校研究主任研修会は、2回開催いたします。
去る8月6日(水)に開催した第1回目の講話は、島尻教育事務所 伊井秀治指導主事による「わかる授業 Support Guide」の活用について島尻教育事務所提供の「授業づくり共通実践資料」と絡めながらのお話でした。

グループ協議では、「研究主任の取組」について、各学校における実践していることを中心に協議が行われました。

研究主任として、全職員参画の校内研修を目指して、工夫しながら取組んでいるお互いの取組みを情報交換することもできた研修会でした。

【研修会の概要】

- 1 開会のことば
- 2 所長のあいさつ 島尻教育研究所長 上原勝晴
- 3 講話 島尻教育事務所指導主事 伊井秀治
「わかる授業 Support Guide」の活用について
- 4 グループ協議
 - (1) グループ協議
「研究主任の取組み」について
 - (2) 各グループの発表
- 5 閉会のことば

【講話の概要】 講師：井伊秀治（島尻教育事務所 指導主事）

- はじめに
 - I 本冊子の活用に当たって
 - II 学力向上に係る主な課題
 - III 授業改善の視点と構想
 - 1 授業改善の3つの視点
 - 2 授業力向上のための要素
 - 3 思考を深める言語活動
 - IV 教材研究
 - VI 学習方法
- おわりに
 - ・授業づくり共通実践資料（島尻教育事務所 資料）
 - ・平成27年度全国学力・学習状況調査に向けて（島尻教育事務所資料）



写真1 伊井秀治指導主事による講話



写真2 「グループ協議」の様子



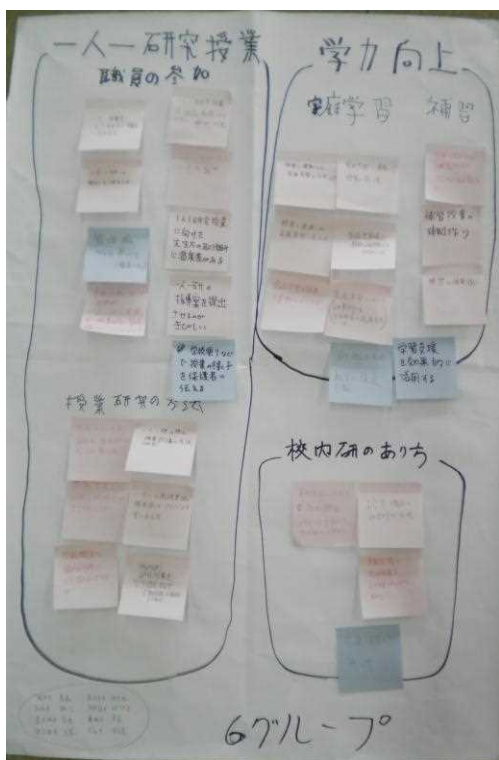
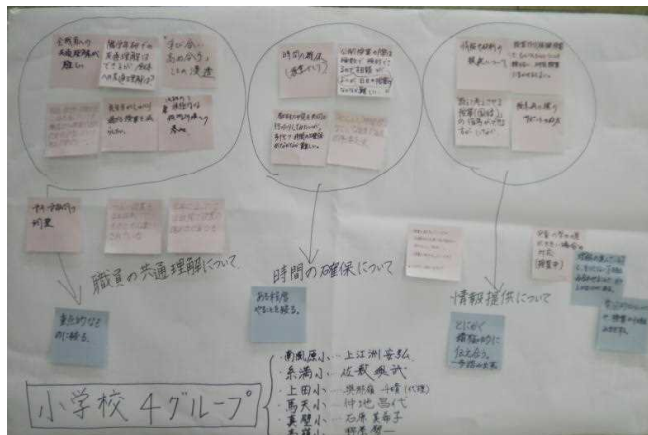
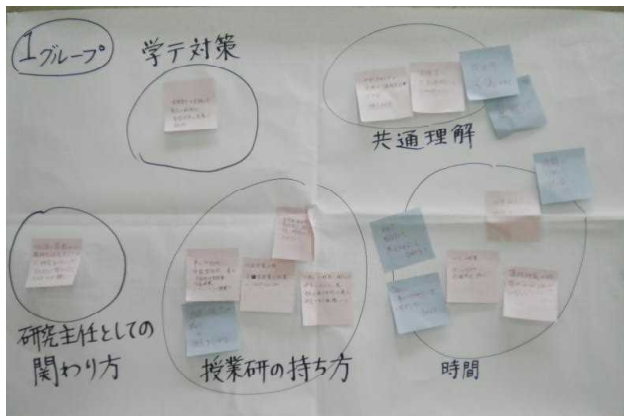
写真3 発表の様子



受講生の感想

- 「わかる授業 Support Guide」の丁寧な説明で、徹底事項から教材研究・板書まで、学校に持ち帰り、活用をより進めていきたい。伊井主事の「プラス1（単元全体を見通す授業づくり）」も先生方に紹介していきたい。
- 協議の中で、他校の研究主任の皆さんも同じような悩みを抱えながらも前向きに授業力向上に取り組んでいることを知ることができて良かった。
- 他校と課題を共有し、対応策を考えることで、全校体制で取り組むための具体的な仕掛け、取組み実践がわかり、すぐにできることから進めていきたい。
- 時間の確保、実践するための共通理解、共通実践、評価の一連の流れを作り、校内研修の充実を図ることが、子どもにつけさせたい力に直結できることを理解し、学ぶことができた。

各グループの協議の足跡



	課題	対応策
授業力 (一人一授業)	<ul style="list-style-type: none"> 一人一研究授業の推進 授業研究の活性化 研究主任としての関わり方 	<ul style="list-style-type: none"> 共通理解の推進 共通実践の実践 時間確保の取り組み
研究主任として	<ul style="list-style-type: none"> 研究主任としての関わり方 授業研究の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> 共通理解の推進 共通実践の実践 時間確保の取り組み

7グループ

具志中 (調), 南電中 (調), 知名中 (調), 長中 (調), 権子中 (調), 玉成中 (調), 幸田中 (調)

